

茂原市協働のまちづくり推進懇話会

(会議録)

令和4年9月22日(木) 15時30分～

茂原市役所1階102会議室

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 自己紹介
- 4 令和3年度協働のまちづくり推進事業報告について
- 5 意見交換
- 6 閉会

○出席委員(順不同・敬称略)

役員	区分	氏名
座長	学識経験者	関谷 昇
座長職務代理	関係諸団体の代表	西條 博光
委員	〃	松永 徳弥
委員	〃	田中 允
委員	その他市長が必要と認める者	小沢 恒夫
委員	〃	市橋 拓道
委員	〃	石川 章子
委員	〃	小倉 理香

1. 開会

【生活課 深山】

本日は、お忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。定刻となりましたので只今から、茂原市協働のまちづくり推進懇話会を開会します。

本日の進行を務めます、生活課の深山です。よろしく願いいたします。

今回の懇話会では、上半期の進捗状況についてご報告し、皆さんとの意見交換を実施してまいります。

まず始めに宮本課長より挨拶を申し上げます。

【生活課長 宮本】

—挨拶—

【生活課 深山】

続きまして、委嘱状の交付ですが、感染症予防の観点から、手渡しでの交付を割愛して、お席にお配りさせていただきましたので、ご確認をお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に、資料の確認をいたします。会議次第、まちづくり条例のフレイヤー、パワーポイントの資料、令和3年度協働のまちづくり推進事業報告書、懇話会委員名簿が各1部です。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

本懇話会は、茂原市協働のまちづくり推進懇話会設置要綱第6条において、座長及び座長が欠けた場合の職務代理者を互選することとなっております。

本来であれば、皆様の間で互選をしていただくこととなりますが、あらかじめ事務局でお願いしてありますので、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

ありがとうございます。それでは、座長を千葉大学教授の関谷様、職務代理を茂原市自治会長連合会長の西條様をお願いしたいと思います。

(承認)

それでは、ここからの進行は座長の関谷様をお願いいたします。

【関谷 座長】

只今、座長に指名いただきました関谷です。よろしくお願いいたします。それでは会議次第に沿って進めていきます。

次第3の自己紹介ですが、委員の皆様は初めての顔合わせですので、私から順に時計回りで自己紹介をお願いします。

(各委員の自己紹介)

【生活課 深山】

関谷様につきましては、所要のため、ここで退席いたします。

以後の進行については、座長の職務代理者である西條様をお願いいたします。

【西條 座長職務代理】

座長職務代理の西條です。よろしくお願いします。

それでは、引き続き次第に沿って進めさせていただきます。

次に、次第4の令和3年度協働のまちづくり推進事業報告について、事務局より報告をお願いします。

【生活課 大本】

(資料に基づき報告)

【西條 座長職務代理】

ただいま事務局から報告がありましたが、皆様からのご質問やご意見がありましたらお願いします。

【市橋 委員】

任期は2年間だが、2年後にこういった形で最終的にまとめていきたいのか、組織のあり方についてお聞きかせください。

【生活課 深山】

こういった形でまとめるかというよりも、先程紹介した市民活動団体は今現在33団体ありますが、各団体が行っている事業の評価を提案させてもらっている中で、こういった団体が増えたらいいのではないかな等、意見をいただきながら、地域の課題解決に取り組む団体の支援について、懇話会委員の声を反映させていきたいと考えています。

【西條 座長職務代理】

委員は8名だが、人数は決まっていますか。

【生活課 深山】

要綱で8名以内となっており、4名は学識経験者や各団体からの推薦、残りの4名については一般公募から選考して組織しております。

【西條 座長職務代理】

私の地域の本納地区では、まちの歴史ある駅周辺と、バイパスから東側の農村地帯ではっきりと性格が分かれています。この人たちが一緒になって物事をやるとどうなるか、例として橘神社の祭りがあります。自治会は宗教団体ではないが、「向こう三軒両隣」で、仲良くなっていこうというのが根本です。その中で、会費をどう使うかという問題があり、昔から住んでいる人は大きな行事である祭りに費用をかけることを賛成していますが、祭りに関心のない新しく入ってきた人は不満であり揉め事とな

っています。そのため、まちづくりはまちづくり、神社の祭りは神社として、自治会を分割して新たに作り直したりしましたが、なかなか意見が合いませんでした。そこで、神社等関係なく「向こう三軒両隣」で隣同士仲良く顔が見える活動をしよう、という取り組みを進め、草刈りやゴミ拾いを自治会加入に関係なくみんなでやっており、きれいな町になってきています。ただ、最近は駅利用者のマスクのポイ捨てが多く見受けられます。

【松永 委員】

どういふ問題を話せばよいのか。例えば茂原にこういう問題があるのでどう解決していくか、ということではないのですか。

【生活課 深山】

まちづくりとして側面からいただいた意見、例えば高齢者の問題やゴミの問題等については、関係部署へ要望と言う形で対応ができますが、この懇話会については自発的にやっている皆様の活動の評価や、活動団体の実態等、まちづくりに対しての意見をいただければと考えております。

【松永 委員】

例えば自分たちの団体でいろいろな問題がありますが、こういうことで応援してもらえないか等でもいいですか。

【生活課 深山】

市民活動団体の代表として来ていただいているので、そういった問題でも大丈夫です。

【西條 座長職務代理】

ナルクは全国組織であり、いろいろな全国の話も聞いていると思いますが、茂原の独特の地域性もありますので、市との繋がりを活かしていただければと思います。

また、この懇話会は、問題解決をするというよりも、意見を出し合い整理する場であると考えています。

【生活課 深山】

例えば、大多喜ガスは今回新しく委員になっていただいたが、1月から新しい部署で、今まで企業として提供していたところから、皆さんの意見を聞きながら企業としてできることはないかということで今回参加していただいているので、茂原市のまちづくりと大多喜ガスの実施する事業が一致するような方向に行けばよいと思っております。

【西條 座長職務代理】

今年度認定された団体を含め33の活動団体がある中で、活動の中身や悩みが表に出てこないように思います。

【生活課 深山】

先ほどの報告の中でもあったように、月に1回まちびとカフェを開催し、活動団体同士が話し合う場を設けており、そこでも日頃の悩み等いろいろな意見がでています。行政ができないことや手の届きにくいところを認定活動団体が担っており、その辺りの両輪が合っていくように、この懇話会で意見を出していただければと考えております。

併せて、市民に参加を呼び掛けることも大事であり、どの団体が何曜日にどういった活動をしているか、今まで分かりづらかったため、まちびとカフェの中で団体が行っている活動を取りまとめたカレンダーを作成する等、情報を共有できる体制を整えております。そういったところから市民参加がまた増えればと考えております。

【石川 委員】

弊社として何が求められているのか、いろいろなところから意見をいただく中で、コミュニティがないということが多く聞かれ、有事の際に困るということでした。茂原市でも何年前かに水害に見舞われていますが、近所付き合いがないというところに問題意識がある市民が多いのではないかと感じています。

ただ、茂原市では33の市民活動団体があるということですが、その辺りについて市民の皆さんはどのような意識をもたれているのか教えていただければと思います。

【生活課 深山】

自治会という組織があるが、自治会加入者が少なくなっている状況であります。例えば茂原市の自治会加入率は53.5%と年々減少しており、コミュニティの不足と言われているところはそういったことからありますし、逆に目的が決まっていって年齢も近く、明確な目標を持って活動団体を立ち上げた方たちが右肩上がりに増えています。生活様式の多様化によって活動の方法やコミュニティのとり方が変わってきていると事務局は捉えています。自治会に入らなければいけない、ではないですが、自治会ではなく活動団体として気の合う仲間と活動したいという方たちが若い層を中心に、活動団体の中で増えているのかなと感じています。ただ、自治会加入率を上げなければいけないので、様々な加入促進のPRをしながら、自治会・活動団体を少しずつ上げていきたい、というのが事務局の考えであります。コミュニティ不足の解消は難しく、将来に亘って続いていく課題かもしれないですが、何か茂原市としての魅力をもったコミュニティがとれればと思っているので、懇話会委員からも意見をいただければ、我々も行政として取り組んでいく上で参考になると考えております。

【石川 委員】

市民活動団体はご近所同士ではないということによいですか。

【生活課 深山】

はい。

【石川 委員】

自治会加入者を増やさないとコミュニティが成立しないという問題がでてくると考えられます。

【生活課 深山】

自治会加入率を上げるというより下げないようにする努力をしており、連合会では部会を組織し、魅力のある自治会にするにはどうしたらよいか話し合い、講演会やイベントを開催したり、小中学生を対象とした標語コンクールを実施し、子どもを通して親に関心ももってもらうような事業を展開しているところです。

【石川 委員】

弊社の拠点は茂原市以外にも、市原市、千葉市、八千代市にもありますが、どこでも自治会加入者が減っているという話を聞きます。自治会に代わるコミュニティが近所同士でできればいいのかなと思っています。

【生活課 深山】

地域には自治会組織がまずあり、古くから祭りや地域ごとの行事に参加しなければいけないという難しい問題もあり、新しい世帯が入るとなかなかなじめないということがあります。生活する上で大事なゴミの問題等に対処するために小さいコミュニティを少しずつ形成していくことで、一つの自治会が成立するのかなと考えております。

連絡体制は、今も回覧板を使用しているが、スマホでSNS等からの発信が主流となっており、紙で回すというところから少しずつ変わってきているところの世代間ギャップがあると感じています。

【田中 委員】

今の関連ですが、自治会加入率はここ数年50%台で推移している中で、社会福祉協議会が困っている人に対して支援を行っているが、そのもとになっているお金は自治会から社会福祉協議会に出ています。50%くらいの人達のお金でやっていくことになり、皆が悩んでいる問題です。

【西條 座長職務代理】

社会福祉協議会の年末募金の7割は自治会が集めており、自治会との関係は絶対な

くせないものです。自治会自体が減ってきており、少子高齢化が大きな理由となっています。自治会運営を知っている人が少なくなってきており、また、若い人はネットから情報を得るなど、自治会の位置付けが怪しくなっていると感じています。ゴミの問題があるが、ゴミは生活する上で誰でも出さなければいけないものであり、整理整頓しなければならない問題です。また、自治会と関係なくゴミを出せる地域もあるが、やはり自治会を中心として声かけしていく必要があると考えています。不法投棄の監視については、即時対応することで不法投棄が少なくなってきています。いずれにしても、そういった問題が237の自治会の会長を通じて連合会に入ってくるので、スピード感を持って取り組んでいきたいと思います。

【西條 座長職務代理】

その他、皆さんから何かご意見等ありましたらお願いします。

無ければここで座長としての役目を終わらせていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

【生活課 深山】

ありがとうございました。本日いただいたご意見を踏まえ、今後の取り組みにつきまして、更なる充実に努めてまいりたいと存じます。令和4年度の進捗状況につきましては、2月頃にもう一度お越しいただきご報告します。

以上を持ちまして、茂原市協働のまちづくり推進懇話会を終了といたします。